

## 会員だより

### CSR活動で社会貢献!

支部会員の皆さま、こんにちは。  
弊社は昭和 53 年設立以来、郷土を誇りとし、「我した美ら島沖縄づくり」を目標に、社会貢献する創造企業を宣言し努力しております。

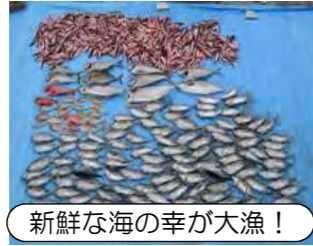
今回、初めての広報ご挨拶という事で、総合建設業とは別の顔で、弊社の恒例行事を紹介させて頂きます。

我が社には創業以来続けている行事があり、「人と人とのふれあいを大切に、深い絆を広げる」をモットーとして、情熱をもって取り組んでおります。

毎年 2 月の「おきなわマラソン」でのボランティア活動では、知花十字路沿道で、たくさんの飲物や果物をお配りするとともに、盛大な応援と誘導整理をさせて頂いております。中でも「豚汁」は中間地点の名物になっていて、地元ランナーや



走者の皆さんを応援!



新鮮な海の幸が大漁!

## 会員だより

### ボランティア・サポート・プログラム活動!

弊社では名護市役所前国道 58 号線沿いを平成 18 年から道路管理者と提携し国土交通省のボランティアサポートプログラムとして毎月第一土曜日に大勢の職員が参加して歩道周辺のゴミ拾いや植栽帯の管理・草刈り・落ち葉の片付けなどを実施しており、回数を負う毎に活動内容も充実してきております。

また、毎月各現場持ち回りで現場職員が集結し、現場作業所近隣の学校や公園など地域施設の美化活動を行っており、特に小学校では学校の環境が快適になり、子供たちも気持ちよく学習ができると喜びの声を多く頂いております。

職員のボランティア活動への関心は年々たかまり、この清掃活動を近隣住民及び関係者方が喜んでくださり、充実感があります。

これからも建設業として地域と共存できるよう地域貢献活動を継続していき、あけみおの街名護を始めとし、良好な道路環境を実現するとともに、

## 株式会社 基土木 代表取締役 仲宗根 勇



本社社屋

ずらっと並んだごちそう!

海外の皆さんからも大人気です!

また、春になると、4月の第三金曜日、登川本社で「お客様感謝デー」を開催します。約 700 名のお客様をお招きしまして、社員全員で準備した手料理を並べ、魚料理は、期間限定水産部(釣りクラブ)の水揚げ品にて、心を込めて盛大に振る舞います。日頃、現場で頑張っている皆様に感謝の気持ちをお伝えするために、精一杯おもてなしさせて頂いております。

今年は会員の皆様も、ぜひ、ご参加下さいませ。心からお待ち申し上げております。

今後も、会員の皆さまのお役に立てるよう、様々な CSR(企業の社会的責任)活動に取り組んで参りますので、今後ともご指導・ご鞭撻の程宜しくお願い致します。【総務部 中村律子】

## 株式会社 屋部土建 代表取締役社長 津波 達也

皆さんに道路を常に美しく・安全に利用して頂きたいと思っております。【土木本部 長山達昭】



名護市民会館前の清掃

国道の管理をサポート



### 魂をゆさぶるような 各リーダーたちの言葉!

- 須磨久善(心臓外科医、バチスタ手術)

「どんな薬よりどんな手術より、やっぱり生きたいと思う気持ちが大切だ」

## 活動報告・トピックス



### ①第90回 道路美化・清掃活動

#### 雨で中止に!

2月18日(火)に予定した、第90回道路美化清掃活動は、雨のため中止となりました。前夜から降り続いた雨は、今朝も晴れることなく降っていました。天気予報では、午前10時頃に晴れるとのお見立て。しかし、朝から降り続く雨を見ていると、到底、作業は出来ないかと思案投げ首。結局、中止としましたが、皮肉なことに作業開始時間には、降り止んでいました。いつも悩ましい、天気とのつきあいです。



### 社会基盤づくり・・・ダム



屋上にタンクが設置されてい  
る、沖縄ではごく普通の風景

去る3月1日に金武町金武で億首ダムの竣工式が行われました。国ダムとして最後の事業となり、今回で沖縄県での国直轄のダム建設に終止符が打たれます。これに伴い、北部ダム事務所が今年度で閉鎖することになりました。

1972年の復帰以来、沖縄県における国直轄事業として41年にわたりダムを建設し、県民の暮らしを支え続ける大きな役割を果たしてきました。これまで、沖縄県では水事情が極端に悪く、度々の渇水に悩まされてきました。断水に備えて、家の屋上には水タンクを設置することが常識でした。他府県の来沖者から、この風景が珍しく、不思議に思ったと聞いたことがあります。

こうした水不足を解消するため、復帰以降降次々と水源開発を進めてきました。その額は40年間で約4000億円にものぼります。福地、新川、安波、普久川、辺喜の北部5ダムを完成させ、その後も、倉敷、漢那、福地、大保、億首と次々にダムが完成し、県民の水事情は格段に改善されました。その甲斐もあって、平成6年から現在まで、20年間一度も断水がありません。水の安定供給にダムの建設が大きく寄与したことは間違いありません。

## 今月の予定

- ①第91回 道路美化・清掃活動  
後半グループ 3月18日(火)10:00~
- ②第4回安全委員会 支部会議室  
3月4日(火)11:00~13:00
- ③第4回企画・広報委員会 支部会議室  
3月6日(金)11:30~13:30

億首ダムの完成で国のダム建設は終わりましたが、大きな河川がない沖縄では、お天気頼みの水事情に変わりはありません。新たな水資源開発に期待するとともに、みんなで節水を心がけて貴重な水を大切に使いましょう。

## 東日本大震災から三年

この3月で東日本大震災から、3年の歳月を迎えました。死者は1万5千800人余、行方不明者2633人、併せて2万人近くの方が犠牲になりました。また、ようやく助かったものの、震災関連死として認定された死者が3千人余にもなります。実際にはそれ以上の方が亡くなっているかも知れません。その他、26万7千人の人々が住み慣れた我が家に帰れず、やむを得ず仮設住宅へ移り住んだり、他府県に避難したりしています。安倍首相は「これからはハード面の復興のみならず、心の復興に一層力を入れていく」と表明しました。時間がかかっても、被災地に寄り添う復興支援を息長く続けていきたいものです。

沖縄でも3月3日午前5時頃に震度4(本島南部)の地震が起こりました。揺れの大きさにビックリして起き出した人も多いでしょう。沖縄は地震が少ないかと思っているかも知れませんが、過去には明和の大津波(1771年、明和8年)があり、陸地を駆け上がった津波高は85.4mとされています。この津波で、八重山・宮古諸島の死者行方不明者は併せて1万1千861人にのぼったとの記録があります。沖縄県は海に囲まれ、いつ津波被害に遭遇するかも知れません。心して、日頃から準備をしておきましょう。

### 福島・岩手・宮城3県の震災後の被災状況

